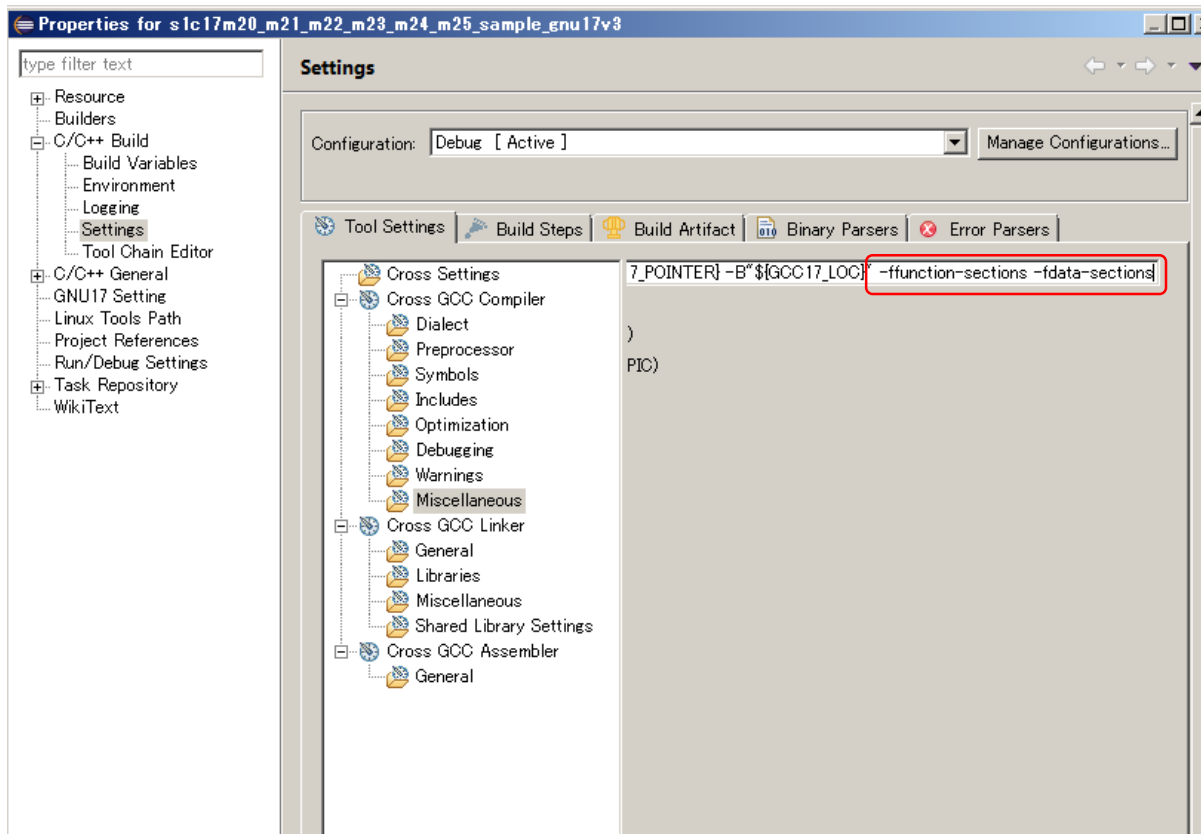


未使用関数の除外方法(参考情報)

コンパイラ、リンカのオプション設定により、未使用関数を含まないようにして、ビルドを行うことが可能です。以下の手順に沿って設定します。

1)コンパイラの起動オプションに以下を追加します

Project Explorerウィンドウの各プロジェクトを右クリックし、Propertiesから
C/C++ Build → Settings → Tool Settings(タブ) → Cross GCC Compiler → Miscellaneous
→ Other flagsに “-ffunction-sections -fdata-sections”と追記 → OK

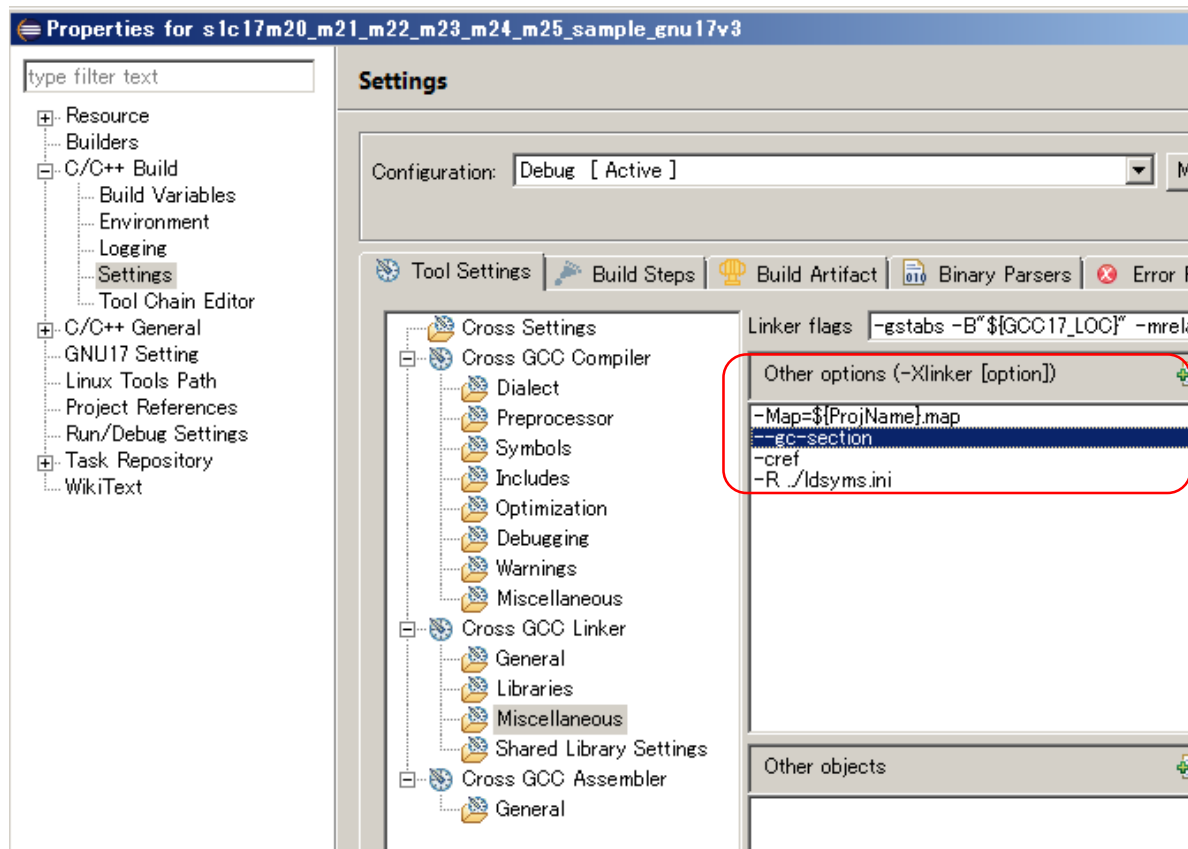


未使用関数の除外方法(参考情報)

2) リンカの起動オプションに以下を追加します

Project Explorerウィンドウの各プロジェクトを右クリックし、Propertiesから

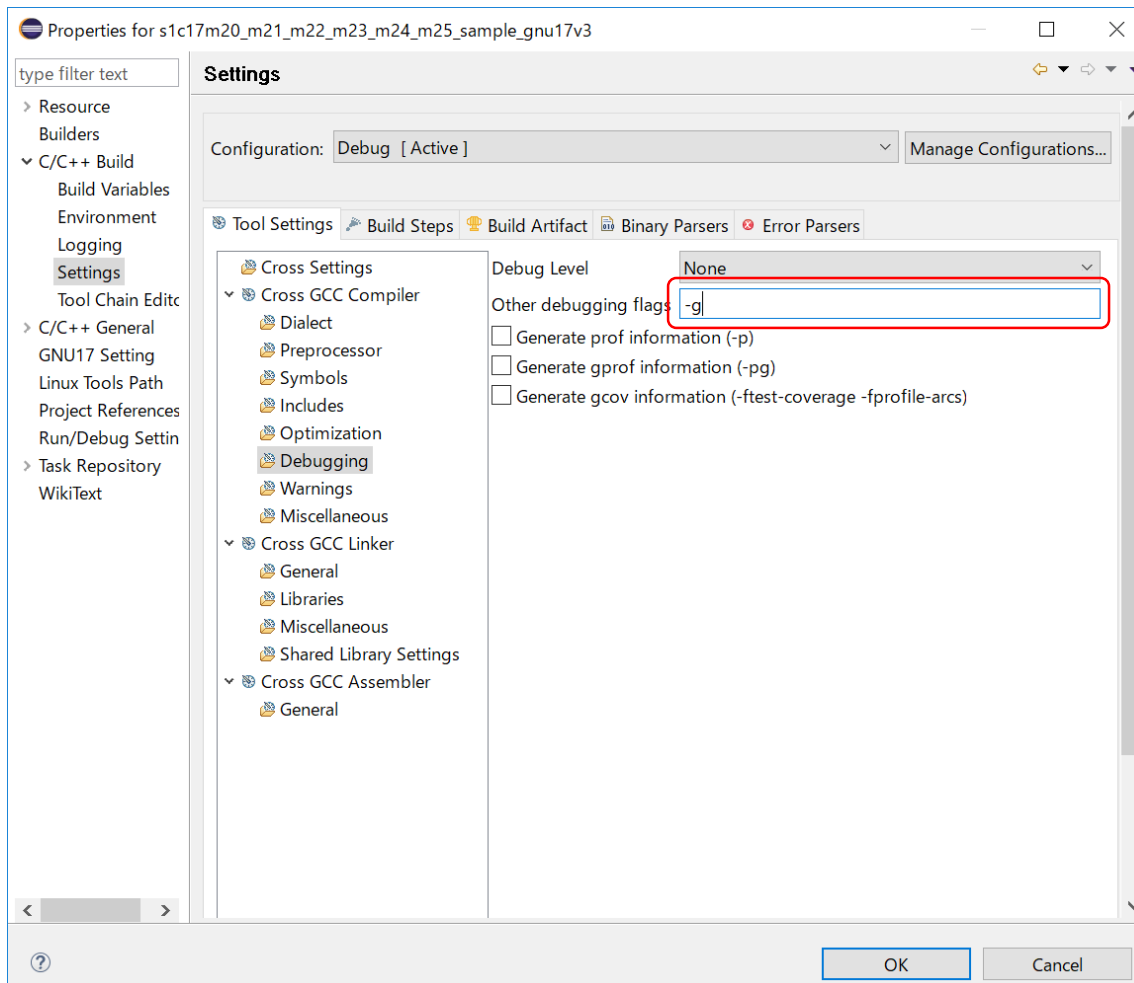
C/C++ Build → Settings → Tool Settings(タブ) → Cross GCC Linker → Miscellaneous → Others optionsに、“--gc-sections”を追記、“-cref” オプションを追加(mapファイル中に各関数のリファレンスを出力することが可能) → OK



未使用関数の除外方法(参考情報)

3)ソースレベルデバッグオプション設定

Project Explorerウィンドウの各プロジェクトを右クリックし、Propertiesから
C/C++ Build → Settings → Cross GCC Compiler → Debugging → other debugging
flags の[-gstabs]を[-g]に変更(ソースレベルデバッグが可能) → OK



4)ビルド

プロジェクトをクリーン後、再ビルドを実行してください。